

「警備は人なり」のC S Pが、東京研修センター開設 30 周年式典を挙行

C S P が、業界他社に先駆けて社員研修所を建設して今年 30 周年を迎えた 11 月 1 日、東京都町田市旭町の東京研修センターで、記念式典が行われました。

C S P 創業者の故森田名誉会長が、東京都目黒区内に旧東京研修所を作ったのは、創業からわずか 5 年後の昭和 46 年 11 月 1 日。まだ揺籃期の警備業界では初の研修所で、そこには「質の高い警備サービスを提供するには、優れた人材育成が不可欠」との、当時の森田社長の意気込みがありました。

9 年前の平成 4 年に建設の、2 代目の東京研修センターでの記念式典は、出佐会長、福西社長はじめ、歴代の研修所長らが出席、福西社長が「いかに技術が進歩しても、『最後は人の力、人の心』です。お客様にますます信頼される C S P であり続けるために、仕事に取り組む心意気・精神を鍛え、心をひとつにして頑張っていきましょう」と挨拶しました。

C S P は、東京研修所に続いて 5 年後に関西研修所を作りましたが、その開設 25 周年式典も今年 7 月に行われています。



「東京研修センター」



新時代の人材育成を誓う
「研修所開設 30 周年記念式典」